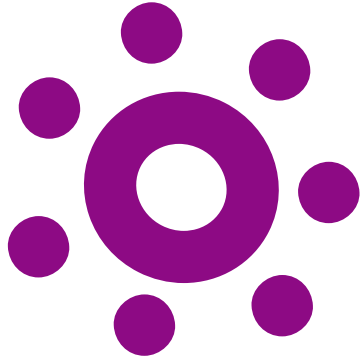


# 野田ロータリークラブ週報

第 3047 回例会 (9 月 26 日) 第3039号 2022.10.3 発行



## イマジジン ロータリー

2022-23年度 ロータリーのテーマ

地区:「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう!」  
野田:「今こそロータリー」

■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(櫻のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL 04(7125)0061 FAX 04(7125)0055

会 長: 浅野 泰泉 幹 事: 森下 芳夫

会長エレクト: 三浦 直哉 副 幹 事: 白島 智子

副 会 長: 古谷 光裕 発行責任者: 伊東 真也

### 第3047回 例会

点 鐘 浅野 泰泉 会長  
司 会 山本 和広 会員  
ソング それでこそロータリー

### 会長挨拶 浅野 泰泉 会長



のだしこども館supported by kikkoman(野田市立児童センター)のオープンが10月1日(土)と決まりました。コロナ禍により延期されていましたがオープニングセレモニーは中止といたうえで、開館されるようです。本日、記念品を届けていただきましたのでご報告いたします。今、野田ロータリークラブ10周年記念誌を読みこんでいるお話をさせていただきました。10代茂木佐平治会長の挨拶を紹介いたしました。今日は10周年の時の幹事南久次郎さんの文章をご紹介します。野田ロータリーらしさが表れています。雑感第3代幹事南久次郎ロータリークラブに入会させて頂き4年を経た今日十周年の記念祝典が挙行される時に幹事として参列出来ますことはこの上ない喜びと思っております。ロータリーが野田に出来た時に毎週会議所に集り昼食を採ってそれで一体何をするのかと多忙な人々の集りであるだけに不思議でならなかったのです。ロータリーがPRされていない時でしたからまことに無理のない事であったと思います。それが縁あって会員となるに及んでロータリーを知ってくればくる程魅力とも云うべきものを感じる様になった訳です。一体その魅力はなんだろうかと考えましたが私は私なりに解釈しますと先づ第一に出席の魅力です。出席はロータリーではやかましく云われて居りますが私はあの出席の規定がなかったら今日のロータリーの隆盛は期待出来

なかったらと思います。出ても出なくてもよい会だったら恐らく今日の繁栄はなかったでしょう。メイクアップとは又なんとうまい方法だろうと感心せずには居られません。出席を補填することによって近隣に知己を広め日本中至る所に友達を持ちその上世界中と手を結べるとは全く素晴らしい事だと思います。この方法を考案された先輩に敬意を表さずには居られません。出席とは全く苦痛を伴うものです。周到なる健康管理と強固なる意思の力、そして精密なる業務計画この三者によって出席の喜びを知る事が出来ると思いますが野田にも十年無欠席の方が8人も居られますこの先輩各位にも改めて敬意を表したいと存じます。第二の魅力は時間に対する観念であると思います定時に始って定時に終る。これはなんでもない事のように思いますがロータリーならではの事と思います。ほかの会合に出席して時間厳守と云う事が如何に至難のわざか思い知らされることがしばしばです。あの規模の大きな地区大会にも詳細にプログラムの時間が定められて居りその通りに次第が進行していく事を眼のあたり見て感激せずには居られません。研究会に於ける討議等も熱心さの余り時々時間が足りない時もあるようですが定められた時間の範囲内で目的を達する事は出来るようです。その運営方法は大いに参考にすべきことと思います。せめて終了時間は不同としても開始時間はほかの会でも厳守したいものです。第三の魅力は全ての役職が1年の任期で交代すると云う事です。1年で交代すると或る面では弊害も考えられない事もない訳ですがこれもロータリーらしい素晴らしい事だと思います。仕事によって2,3年も止むを得ないと云う役職もあるようですが原則として1年そして全会員が平等にあらゆる役職を経験する。これも他の会には類のない事だと思います。その他にもロータリーには沢山の魅力がありますがこれらの魅力は特色であると云える訳ですがロータリーが今後ますますこれ等の魅力を發揮して発展する事を祈念して止みませんと同時に当野田クラブの今後の繁栄を併せて祈りたいと思います。このように10年目の野田ロータリークラブを語っています。ありがとうございました。

【出席】今回分(9月26日)

会員58名中 48名出席(82.76%)

## ニコニコボックス

梶原 宏氏 会員

今週29日より4日間、紫カントリークラブすみれコースにて日本女子オープンが開催されます。お時間のある方は是非ご観戦ください。

古谷 光裕 会員

本日、秋彼岸明けとなります。お中日を中心に1週間多勢の檀信徒さんが墓参されました。御先祖様を敬い偲ぶ大切な行事です。

早退 1名

## 幹事報告

森下 芳夫 幹事



- (1)11月5日(土)に第14グループ主催のロータリー情報研修会が開催されます。なるべくロータリー歴の浅い方にご参加いただきたいとのことです。詳細は後ほどお知らせします。
- (2)先週の臨時理事会において、青森県大雨災害支援金の支出を決定し、振り込みを行いました。
- (3)浦安ロータリークラブより11月18日(金)に元外務事務次官の斎木氏の外部卓話を予定しており、拝聴希望の方の登録書が届いております。ご興味のある方はお声がけください。
- (4)ガバナーノミネー・デジグネート(2025-26年度ガバナー)の公表がされました。時田清次氏(市原中央ロータリークラブ)です。
- (5)ロータリー財団の研修会が9月17日(土)にオンラインで開催され、幹事として出席いたしました。

## 委員会報告

白島 智子 副幹事



国際ロータリー第2790地区2022-2023年度  
地区大会の件  
スローガン「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、  
千葉から世界を変えていこう」  
7:15 バス到着  
7:20 集合  
7:30 出発  
9:30 点鐘

米山記念奨学会委員会 菊地 孝則 委員長



昨日、一昨日と米山記念奨学会の旅行に静岡県山梨県と行ってまいりました。奨学生はほとんど出席でしたが、コロナ禍でカウンセラーは、たったの3人でした。野田ロータリーの強い姿勢を見せる事ができました。米山梅吉さんの記念館等も行ったので、すごく私自身勉強になりました。

国際奉仕委員会

中野 祐三郎 会員



ダルニー奨学金について  
2022年度の報告が届きました。  
現在、年間14,400円で1人の学生さんに奨学金を届けております。理事会にはかり2名に増員を計画しております。

## 卓 和

伊東 真也 会員



「さざれ石」に関する話

さざれ石の話をするに至った理由

愛宕神社の創祀1100年記念事業を2022年にやる(数年前に決断)→何をやるか?やれるか?(迷い)→世間一般はコロナ禍で行事企画の中止、延期が多い。→2020東京オリンピック(1年延期で開催)→日本選手金メダル→君が代→さざれ石→創祀1100年事業として、さざれ石(本物)を持ってくる(決定)→実現は10月23日(予定)

- 1) さざれ石の学名 石灰質角礫岩  
石灰石が長い年月の間に雨水に溶解され、その時に生じた粘着力の強い乳状液が小石を凝固して巨岩となり河川の浸食作用により地表に露出したもの
- 2) さざれ石の産地  
伊吹山東山麓 岐阜県揖斐川町(旧春日村)
- 3) 産地に伝わる伝承  
惟喬親王(第55代文徳天皇皇子)に仕える藤

原定勝が古谷笹又(現揖斐川町)という地区の谷間で溪流に露出するさざれ石を見て「これは珍しい石、目出度い石である」と感じ詠んだ歌「わが君は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで」この歌詞が国歌「君が代」の源となる。(古今和歌集では詠み人知らずとしてされている)この歌によって定勝は位を賜り、藤原朝臣石位左衛門と改名する。

4) さざれ石披露 愛宕神社境内  
令和4年10月23日(愛宕神社創祀1100年記念事業)

是非、実物をご覧ください。

5) 現在の不安(披露までの懸念事項)  
無事に運搬、設置ができるか? 重さが正確にわからない。運送→設置で石が割れないか? 元々小石が凝結した岩である。さざれ石に生えているヤマモミジを枯らさないか? 岐阜県と野田の気候環境の違い。いたずらされないか? 昨年は落書き事件が発生している。

結論 「さざれ石」を岐阜より野田に運ぶにあたり学んだこと「おもいつき」を実行に移すに

は課題がつかまとう。その過程で、自らの無知、見識不足を思い知らされる。わからないことは聞く(調べる)。生ある限り、何かを企てて実行することは苦痛でもあるが老化防止にもなる。

※参考1 吹山の神と日本武尊命(ヤマトタケル)伊吹山には神が宿る(その化身として古事記では「白い猪」日本書紀では「大蛇」である)。この神との関わりでヤマトタケルは健康を害した(敗れた)との神話がある。

※参考2 惟喬親王(第55代文徳天皇第一皇子)「山の民と生きる悲劇の皇子」(日経新聞令和4年8月23日)皇位承継争いに破れ、都を離れ各地を転々とする。木地師の祖として全国各地に伝わる。

※参考3 岡部長盛(1568-1632)野田と揖斐川町に関係した人物下総国山崎藩藩主で堤台城を普請したと伝えられているが、その後丹波亀山藩、丹波福知山藩の藩主等を経て、美濃大垣藩藩主となり揖斐川町の瑞巖寺の墓に眠る。(存命中に瑞巖寺の消失した諸堂の再興する)

## 今週のトピックス

九月二十六日 俳句同好会句会(第89回)

兼題 桃・秋風

月明り風にふかるる法隆寺 (山本)

名月の大和路行けば人まばら (山本)

登校の小走りの児へ秋の空 (茂木七)

石投げの水切り光る秋の川 (茂木七)

桃好きの児がかじりつきびしよに (佐野)

目覚めれば青白く入る闇の月 (佐野)

店棚に並ぶ白桃水々し (山下)

移り行く雲の形や秋の空 (山下)

新涼や眠るが如く逝きし犬 (高梨)

ジャズピアノ秋風通ふ森を背に (高梨)

次回 十月十七日

兼題 子持鮎・露



野田市健康こども部児童家庭課  
主査 西山 修一様  
のだしこども館オープン記念品  
拝受の模様

## 野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月日	卓話・行事	月日	卓話・行事
10月 3日(月)	卓話(米山記念奨学会タン・ファイブン様)・定例理事会	10月24日(月)	移動例会
10月 9日(日)	地区大会(アパホテル東京ベイ幕張ホール9時30分点鐘)	10月31日(月)	振替休会(地区大会)
10月10日(月)	休日(スポーツの日)	11月 5日(土)	情報研究会
10月17日(月)	会員卓話(田中 秀和会員)	11月 7日(月)	会員卓話(白島 智子会員)